

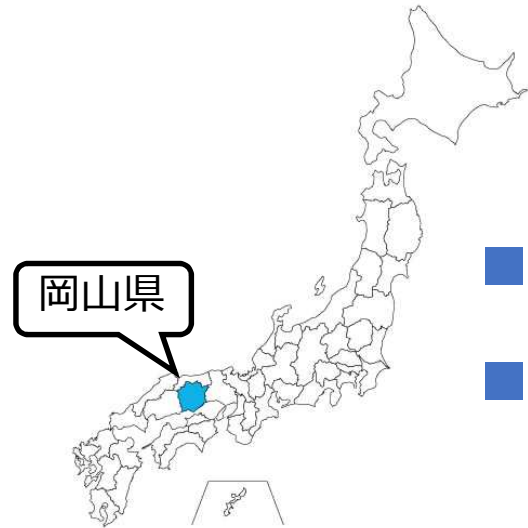
晴れやかネットの概要

第1回医療等分野情報連携基盤技術ワーキンググループ

川崎医療福祉大学
医療ネットワーク岡山協議会

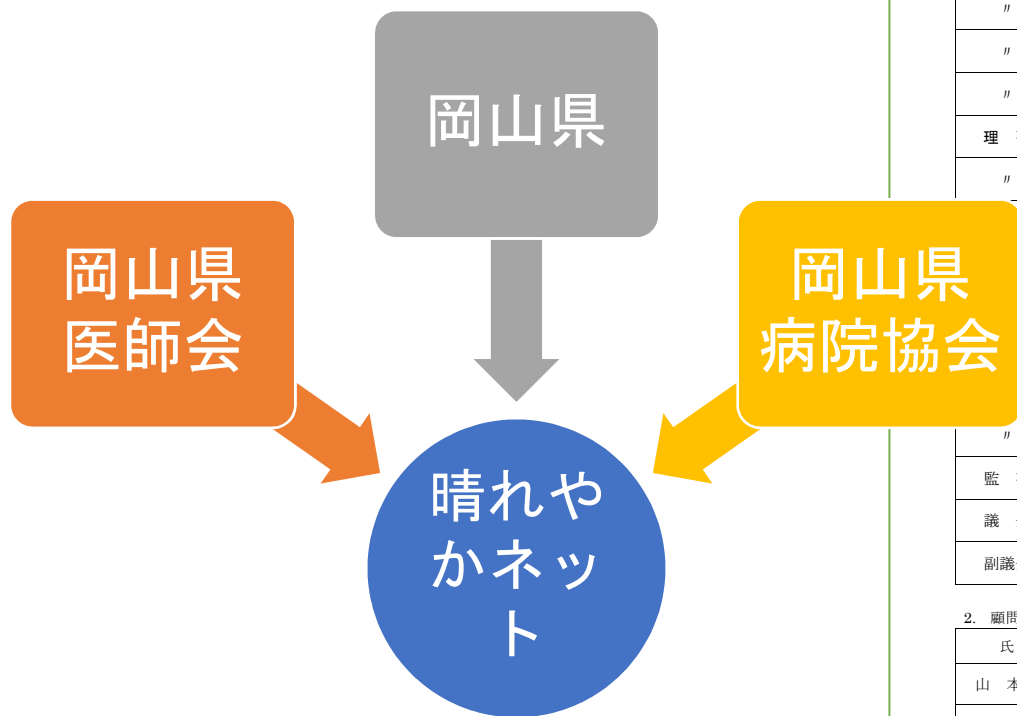
秋山祐治

晴れやかネット



- 2013年1月に医療情報ネットワーク運用開始
- 岡山県医師会、岡山県病院協会、岡山県の三者で設立した協議会が運営
- 岡山県全域（人口192万人）を対象とした広域ネットワーク
- 2016年4月より広島のHMネットともポータル間連携を開始

◆晴れやかネットの概要 — 運営体制



一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会役員等名簿 (H28.6.29～)

1. 役員

役職	氏名	所属	備考
会長	難波 義夫	金光病院 理事長・院長	県病院協会长
副会長	石川 紘	石川産婦人科医院 院長	県医師会会長
〃	山本 和秀	岡山済生会総合病院 院長	
常任理事	清水 信義	淳風会大供クリニック健康管理センター長	
〃	神崎 寛子	神崎皮膚科 院長	
〃	中務 治重	水島中央病院 名誉院長	
〃	秋山 祐治	川崎医療福祉大学 副学長	
理事	大原 利憲	岡山済生会総合病院 総合医療長	
〃	合地 明	井原市立井原市民病院 院長	運営委員会委員長
	宮崎 雅史	幸町記念病院 理事長・院長	
	忠田 正樹	岡山赤十字病院 名誉院長	
	佐能量 雄	光生病院 理事長・院長	
	松本 健五	岡山市立市民病院 理事長・院長	
	榑原 敬	心臓病センター榑原病院 理事長	
〃	則安 俊昭	岡山県保健福祉部医療推進課長	県医療推進課
監事	松山 正春	松山胃腸科外科 理事長・院長	
議長	小林 建太郎	万成病院 理事長・院長	
副議長	江澤 和彦	倉敷スイートホスピタル 理事長	

2. 顧問

氏名	所属	備考
山本 隆一	一般財団法人医療情報システム開発センター 理事長	医学博士・医師
太田 吉夫	香川県立中央病院 院長	元岡山県医療情報システム推進検討委員会会長
小出 尚志	倉敷記念病院 院長	前会長
田中 一宏	田中会計事務所 事務所長	元法人化検討委員会委員
飯生 明	森脇法律事務所 弁護士	運営委員会オブザーバー

注：任期は、役員・顧問とも委嘱後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時会員総会の終結の時まで

第8次岡山県保健医療計画



岡山県 保健医療計画

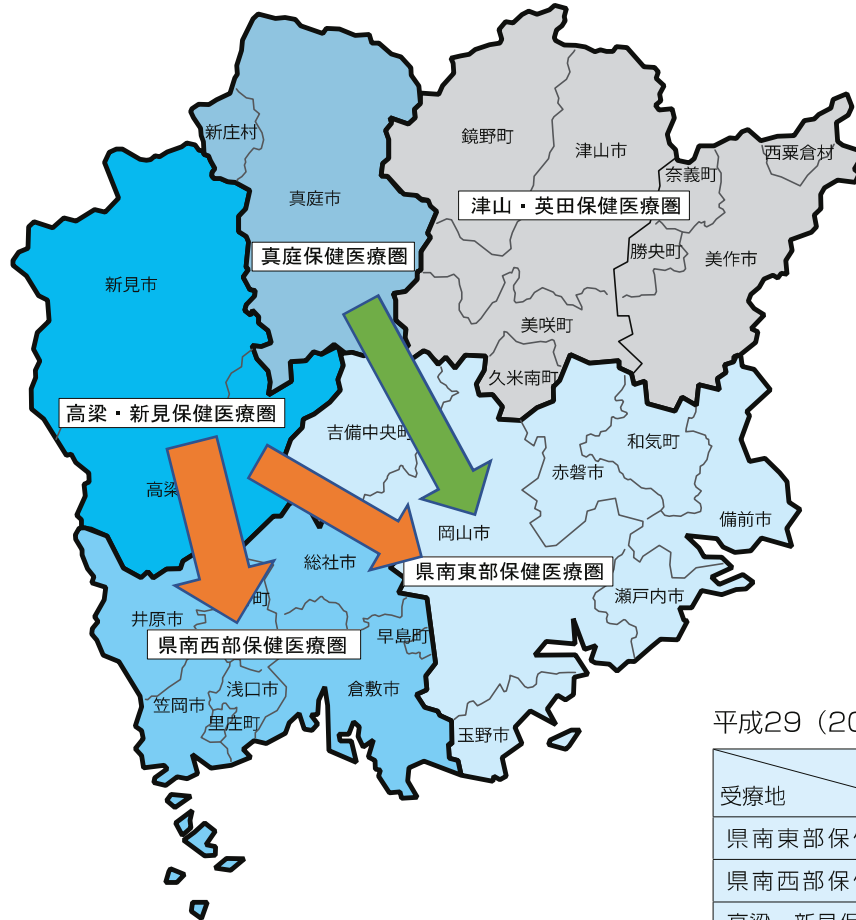
平成30年4月
岡山県

目指すべき医療提供体制を実現するための施策 (1) 医療の役割分担と連携の促進

○本県では、医療機関の役割分担と連携を促進し、効率的で質の高い医療を提供することにより、病院の電子カルテや画像等の診療情報をかかりつけの診療所等で閲覧できる、ICTを活用した医療情報ネットワーク岡山（晴れやかネット）を構築しました。更に、この医療連携（病病連携・病診連携）に加え、患者の療養情報が記載されている連携シートを医療・介護に関わる多職種の関係者で共有し、迅速かつ的確に参照・入力することのできる新たな機能（ケアキャビネット）を追加したシステムを構築し、医療・介護連携のツールに発展させています。今後は、この「晴れやかネット」と「ケアキャビネット」の利用促進に取り組みます。

岡山県二次保健医療圏設定図

平成30（2018）年4月1日現在



二次医療圏	人口	一般病院数	一般診療所数	医師数
県南東部	920,905	71 (7.7)	870 (94.5)	3,190 (347.2)
県南西部	706,122	47 (6.7)	515 (72.9)	2,012 (283.2)
高梁・新見	61,820	7 (11.3)	66 (106.8)	99 (152.7)
真庭	46,315	6 (13.0)	45 (97.2)	76 (160.6)
津山・英田	180,239	16 (8.9)	165 (91.5)	383 (209.1)
合計	1,915,401	147 (7.7)	1,661 (86.7)	5,760 (299.4)
全国	126,933,000	7,380 (5.8)	101,529 (80.0)	311,205 (244.9)

平成29（2017）年

(単位：%)

受療地 \ 住所地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外
県南東部保健医療圏	92.43	5.73	12.66	11.87	11.79	58.81
県南西部保健医療圏	6.82	94.08	19.32	4.43	2.40	35.98
高梁・新見保健医療圏	0.40	0.09	63.28	1.11	0.00	0.62
真庭保健医療圏	0.07	0.05	4.52	75.32	2.05	0.62
津山・英田保健医療圏	0.27	0.05	0.23	7.28	83.77	3.97
計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

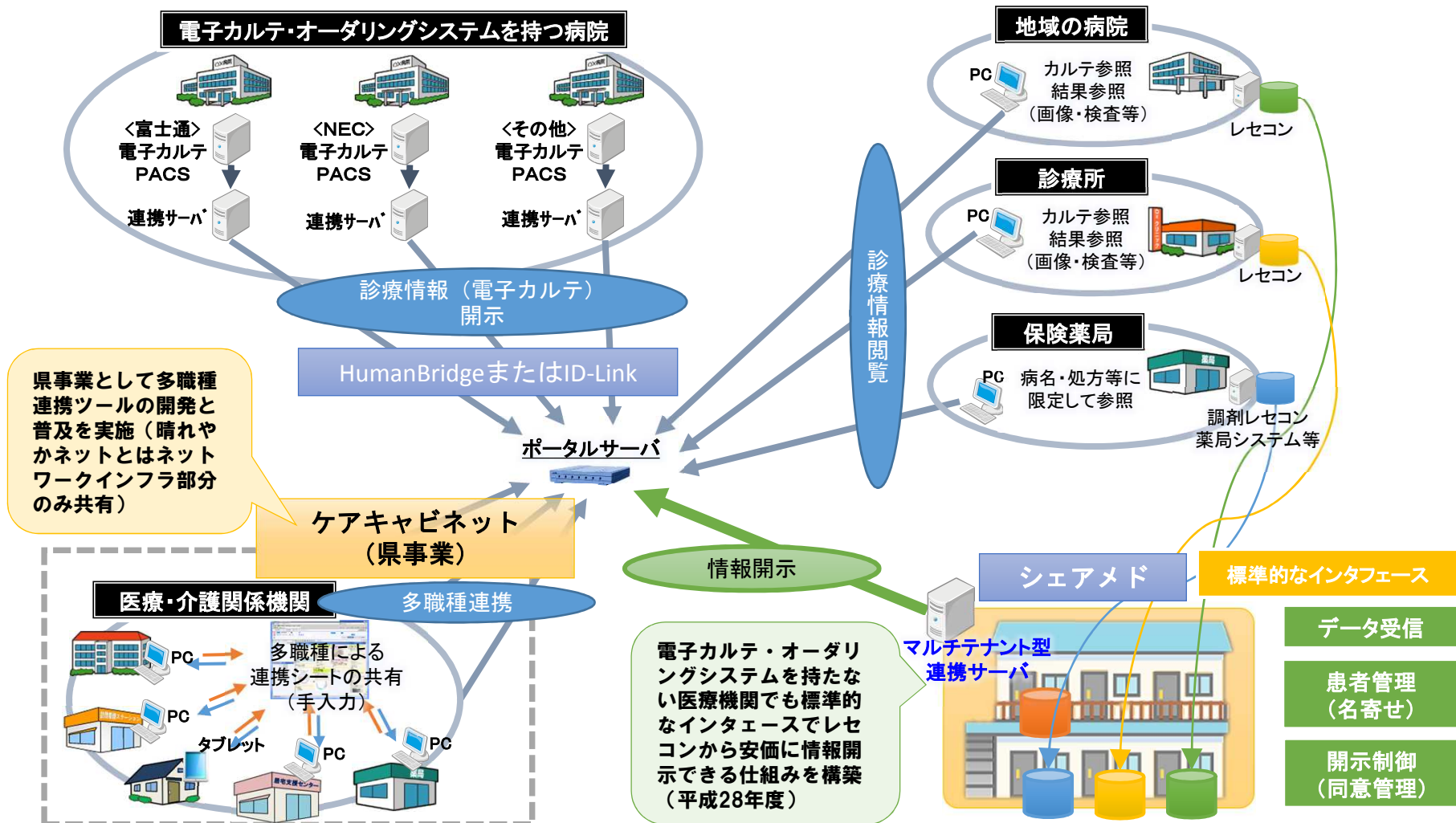
(資料：岡山県医療推進課調べ（平成29(2017)年1月18日時点))

◆晴れやかネットの概要

ーネットワークの構成

ー マルチベンダ方式 ー

- ▶ セキュリティの高いネットワークインフラとポータル機能を共有して、多様な連携システムとの接続を実現するネットワーク構成としています。ID-Link (NEC)、HumanBridge (富士通)、シェアメド (両備) などの地域医療連携システムを、ポータルを介して参照することが可能です。



◆晴れやかネットの概要

・・・参加状況

➤ 情報開示施設については、ID-Link HumanBridgeによる情報開示が51施設、小規模医療機関向け連携システムによる情報開示が32施設あり、計82施設が情報開示を行っています。また、薬局の参加件数が多いことも特徴です。

開示施設

計 83施設

ID-Link HumanBridgeによる情報開示

51施設

■岡山市(18)

岡山大学病院
川崎医科大学総合医療センター
岡山医療センター
岡山済生会総合病院
岡山赤十字病院
岡山市立市民病院
岡山労災病院
岡山協立病院
心臓病センター榊原病院
岡山旭東病院
光生病院
重井医学研究所附属病院
岡山中央病院
岡村一心堂病院
岡山リハビリテーション病院
岡山西大寺病院
竜操整形外科病院
岡山画像診断センター

■倉敷市(14)

川崎医科大学附属病院
倉敷中央病院
水島協同病院
倉敷成人病センター
しげい病院
倉敷平成病院
倉敷スイートホスピタル
倉敷記念病院
倉敷第一病院
倉敷リハビリテーション病院
水島中央病院
松田病院
玉島協同病院
渡辺胃腸科外科病院

■津山市(2)

津山中央病院
中島病院

■笠岡市(2)

笠岡市立市民病院
笠岡第一病院

■井原市(1)

井原市立井原市民病院

■高梁市(2)

高梁中央病院
高梁市国民健康保険
成羽病院

■新見市(1)

渡辺病院

■備前市(3)

備前市国民健康保険
市立備前病院
備前市国民健康保険
市立日生病院
備前市国民健康保険
市立吉永病院

■赤磐市(1)

赤磐医師会病院

■真庭市(3)

落合病院
金田病院
真庭市国民健康保険
湯原温泉病院

■浅口市(1)

金光病院

■早島町(1)

南岡山医療センター

■矢掛町(1)

矢掛町国民健康保険病院

■鏡野町(1)

鏡野町国民健康保険病院

シェアメドによる情報開示

※小規模医療機関向け連携システム

診療所

■岡山市(6)

岩藤胃腸科外科歯科クリニック
氏平医院
小塚内科
大供クリニック
庭瀬ファミリークリニック
ムネトモクリニック

■倉敷市(2)

新倉敷メディカルスクエア
八王寺内科クリニック

■玉野市(1)

井上内科医院

■総社市(1)

藤井クリニック

■高梁市(3)

大杉病院
仲田医院
まつうらクリニック

■浅口市(1)

福嶋医院

薬局

■岡山市(15)

会堂薬局
サンヨー薬局 赤磐店
サンヨー薬局 あけぼの店
サンヨー薬局 倉田店
サンヨー薬局 瀬戸店
サンヨー薬局 ならづ店
サンヨー薬局 西川原店
サンヨー薬局 西崎店
サンヨー薬局 原尾島店
サンヨー薬局 三門店
サンヨー薬局 南方店
サンヨー薬局 幸佐店
サンヨー薬局 たけべ店
サンヨー薬局 築港店
東山薬局

■倉敷市(1)

ハート薬局

■赤磐市(1)

サンヨー薬局

■和気町(1)

サンヨー薬局 和気店

32施設

閲覧施設

計 438施設 (ID取得者数3,133名)

	施設数	県内シェア率	ID数
病院	116	(約71%)	2,754
診療所	193	(約12%)	238
保険薬局	124	(約13%)	136
介護老人保健施設	5		5

(2018年2月28日現在)

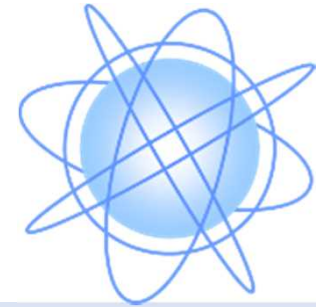
◆晴れやかネットの概要

・・・システム構築整備のあゆみ

整備年度	内 容	機 能
平成25年1月	地域連携システム（G/Wサーバ）導入	院内の電子カルテ、部門システム、画像システム等から出力された情報を他施設へ公開する地域連携システムを、地域医療再生基金により県内51施設に整備（HumanBridge24台、ID-Link27台／SS-MIX2ストレージ全施設整備）
	ポータルサーバ構築	各病院のG/Wサーバから、患者氏名、生年月日、性別等の情報を受け、ポータル画面へ表示し、HumanBridge、ID-Linkのビューアを起動する機能を整備
	医師資格証認証基盤構築 HPKI	ID・パスワードでのログインに加え、HPKIカード＋PINコードでのログインを選択可能とする機能を付加
	オブジェクト識別子 OID取得	組織認証のための国際規格（JIPDEC発行）を取得し、「1.2.392.200284」＋「県コード＋医療機関コード」を施設を一意に特定する基礎番号として使用開始
平成26年3月	多職種連携ツール「ケアキャビネット」構築（県事業）	拡張機能として、介護現場における患者の生活、健康、医療などの情報を、患者に関与する多職種同士で地域単位で情報共有するための連携ツールを構築
平成26年度	総務省 医療情報連携基盤の全国展開に向けたEHRミニマム基盤モデルの実証	連携するデータ項目を必要最低限に絞込み、小規模医療機関等のレセコンから患者基本情報、検査結果、処方情報等を開示することにより、双方向性情報連携の有用性を検証
平成28年4月	ひろしまHMネットとの相互接続開始	相互接続用セグメントを設置し、HMネットと晴れやかネットのポータル間接続による広域連携開始
平成28年7月	患者基本情報統合管理 PIX V3構築 受診歴を一覧表示するビューア実装	HL7 V3メッセージを使用するPIX V3により、接続システムで個別に管理されている患者基本情報の名寄せし、受診歴を一覧表示機能を実現。
	施設単位の患者同意形態へ移行 職種単位アクセス制御機能実装 ACL	患者同意を、個別の医師のみに対する同意から、施設単位の同意へ移行。 参照ユーザの職種ごとのアクセス制御機能を実装
	施設および利用者登録一元管理システム HPD実装	これまで事務局で接続システムごとに新規施設およびユーザの登録事務を行っていたが、IHEのHPD（Healthcare Provider Directory）規格を用いて管理ポータルから自動的に接続システムへ登録される仕組みを実装し、事務負荷軽減を実現
平成29年2月	厚労省 医療情報連携ネットワークNavi掲載	全国に多数広がる地域連携ネットワークのピックアップ事例のひとつとして、厚生労働省が運営するWebサイトに掲載 http://renkei-support.mhlw.go.jp/
平成29年4月	小規模医療機関向け地域連携システム「シェアメド」構築（レセコンベース）	平成26年度のEHRミニマム基盤モデルの実証成果を生かして、診療所・薬局のレセコンをベースとし、検査センタの情報も含め、他施設へ公開する小規模医療機関の情報開示システムを構築。
平成29年度	総務省 クラウド型EHR高度化事業 採択	小規模医療機関向け地域連携システム「シェアメド」に、電子カルテからの連携と医用DICOM画像の共有を可能にする仕組みを付加。また、別システムになっていた医療・介護情報を一元的に可視化する連携機能を付加するとともに、ケアキャビネットと介護業務支援システム間の情報連携機能を構築
	総務省 医療等分野における高精細映像等データ共有基盤の在り方に関する実証	IHE準拠のデータ交換による患者の診療情報連携のあり方を検証するため、実証フィールドとして協力
平成30年4月	小規模医療機関向け地域連携システム「シェアメド」電子カルテ、医用DICOM画像共有追加	レセコン、外注検査データなどの連携にとどまっていたシェアメドを、29年度総務省事業により改修し、電子カルテや画像情報などを含めた地域が持つ医療情報を適切に活用できるシステムを構築

◆晴れやかネットの概要

- ・・・相互運用性の確保・標準規格の採用



- 構築当初より、標準規格を積極的に採用したシステム構築を行っています。

1

情報開示用リポジトリ SS-MIX2 / **医療情報交換のための標準規約** HL7
医療情報の交換・共有のためのストレージの標準規格／ヘルスケア領域におけるデータ交換をするためのフォーマット

2

オブジェクト識別子 OID
組織認証のための国際規格（JIPDEC発行）
※「1.2.392.200284」を施設登録の基礎番号として使用

3

利用者認証 SSO（シングルサインオン）
SAML型認証（異なるセキュリティドメイン間で認証情報を連帯するためのXMLベースの標準仕様）

4

利用者認証 HPKI
HPKI認証（保健医療福祉分野の公開鍵基盤）

5

医療提供者(組織/個人)情報をディレクトリ構造で管理するための標準仕様 HPD
HPD（Healthcare Provider Directory）

6

患者ID管理 PIX/PDQ
医療機関間で個別に管理されている患者情報を、地域内で共有するための規約(統合プロフィール)。

7

通信環境 IPsec VPN + IKE
「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した、IPsec VPN + IKEでのネットワークが必須要件

医療連携 シェアメドによる情報開示

・・・連携項目

項目名		新シェアメド (総務省EHR高度化事業/電子カルテ)	シェアメド (県事業/レセコン)
患者基本属性情報		患者基本情報	患者基本情報
アレルギー		アレルギー情報	アレルギー (手入力)
病名情報		病名情報	病名 (手入力)
カルテ情報	医師記録 (2号用紙)	※	
	退院サマリ	※	
	看護記録	※	
	看護サマリ	※	
	経過表	※	
	手術レポート	※	
	文書情報	※	
オーダー情報	処方オーダー	処方オーダー	処方オーダー
	注射オーダー	注射オーダー	注射オーダー
	検体検査オーダー	検体検査オーダー	検体検査オーダー
	放射線検査オーダー	放射線検査オーダー	
	内視鏡オーダー	内視鏡オーダー	
	生理検査オーダー	生理検査オーダー	
	入院オーダー	入院予定	入退院実施
	外出泊オーダー	外出泊予定	
	転科・転床オーダー	転科・転床予定	
	退院オーダー	退院予定	入退院実施
	食事オーダー	食事オーダー	
	検体検査結果	検体検査結果	検体検査結果 (検査センターから)
	検査結果	細菌検査結果	※
病理検査レポート		※	
放射線画像		※	施設の所有 するPACS、 検査機器の 医用画像を 格納可能
放射線レポート		※	
エコー画像		※	
エコー検査レポート		※	
内視鏡画像		※	
内視鏡検査レポート		内視鏡レポート	
生理検査結果 (心電図・脳波など)		生理検査結果	
生理検査レポート		生理検査レポート	
服薬指導情報	※	服薬指導 (手入力)	
	外来受付	外来受付	

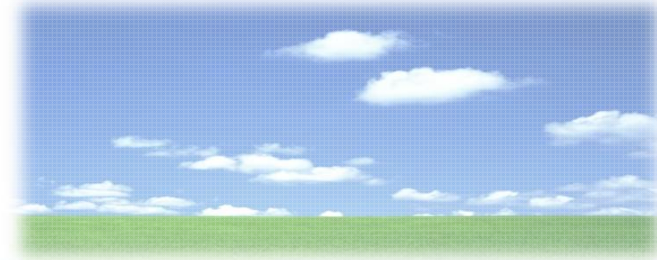
SS-MIX2
拡張ストレージにサマリ、レポート等の文書類を格納可能

施設の所有するPACS、検査機器の医用画像を格納可能

■介護連携 ケアキャビネット

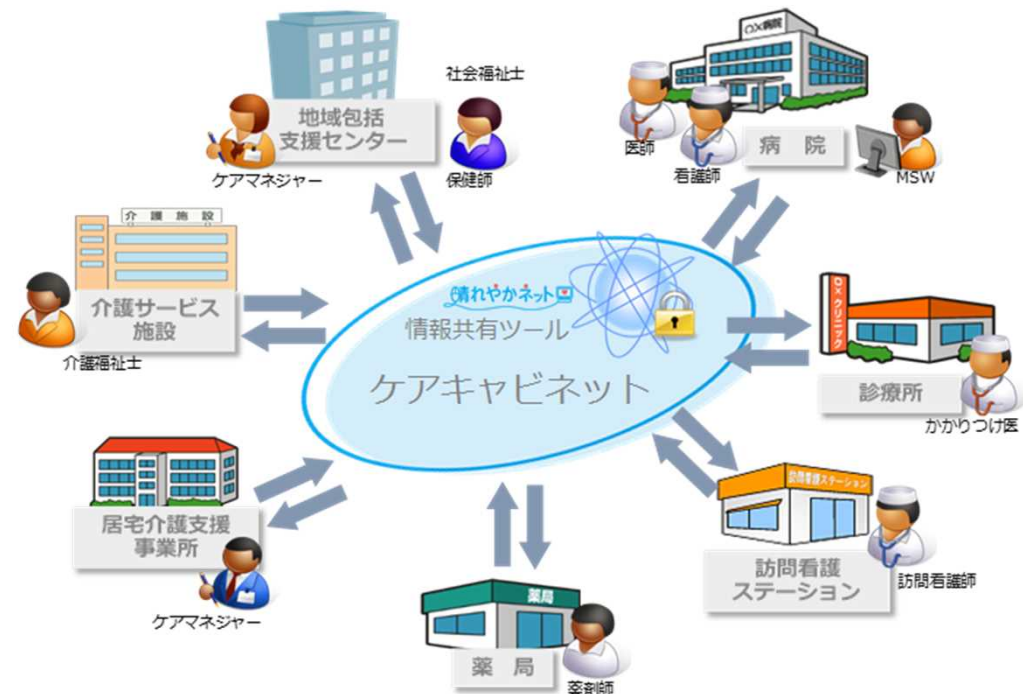
・・・概要

多職種連携 情報共有ツール



晴れやかネットでは、これまでの医療連携に加え、医療・介護の関係者が、患者の療養情報が記載されている連携シートなどを用い、迅速かつ的確に患者の情報を共有するシステム（ケア・キャビネット）を運用しています。（県事業）

- これまで難しかった患者さんの日々のケア情報、画像、動画、テキストデータなどの在宅医療・介護の現場の情報をタイムリーに共有し、多職種間での円滑なコミュニケーションを可能にします。
- このシステムにより、医療・介護に関わる多職種の連携が促進され、質の高いサービスが切れ目なく提供できるようになります。



■ 介護連携 ケアキャビネット

・・・画面紹介

- 連絡ノートのような情報や地域連携パスなどのファイル、床ずれのデジカメ写真や歩行状態の動画などを共有
- 文章での入力だけでなく、人型のアイコンやシェーマを使った入力などにより、入力負荷を軽減
- 予定表機能でスタッフの訪問予定を把握できることにより、グループの連携を促進

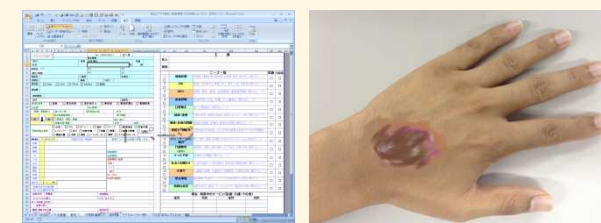


4列タイムライン並記
 医師、看護師、ケアマネ、薬剤師など職制
 毎の記録・記載を時系列に併記します。

タブレットの利用
 iPad、iPhoneから記事の登録・参照が行えます。

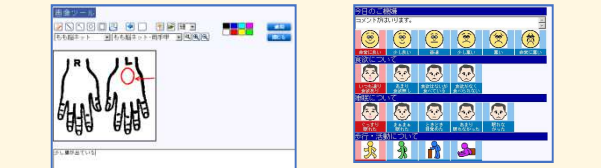
■ ファイル登録

- ・ 地域連携パス・PDF・画像・動画などをアップロードして保管・参照



■ 入力および雛型入力

- ・ SOAP形式や自由形式での入力
- ・ 定型句や選択形式、シェーマを活用した入力支援



■ 予定表

- ・ 患者様の1カ月の予定を登録・管理



■ 介護連携 ケアキャビネット

・・・参加状況

- 7地区で、医師、訪問看護、ケアマネ、保健師、ヘルパーなどが参加し、多職種連携に活用されています。



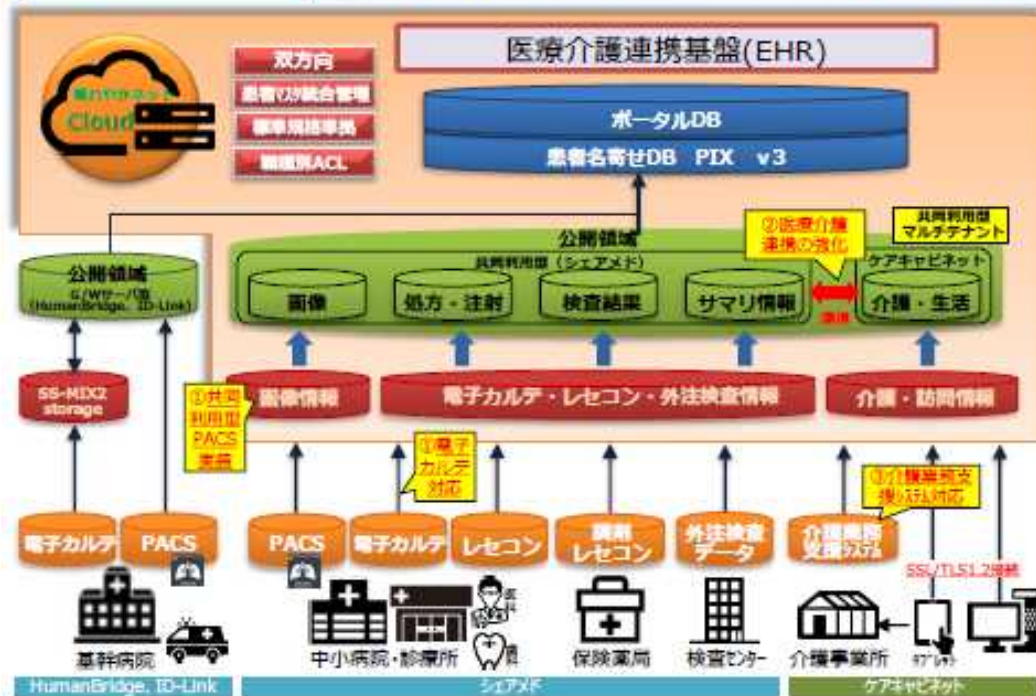
	施設数	利用者数	登録患者数
もも脳ネット（岡山市）	13	44	332
むすびの和（井笠地域）	120	400	305
やまぼうし（高梁市）	58	188	139
きびきび（総社市）	133	401	351
グリーングラス（備前市）	24	66	67
PERIOnet（岡山市）	1	7	7
めばるネット（玉野市）	11	47	0
計	360	1,153	1,201

平成30年3月31日現在

事業まとめ

医療ネットワーク岡山(晴れやかネット)

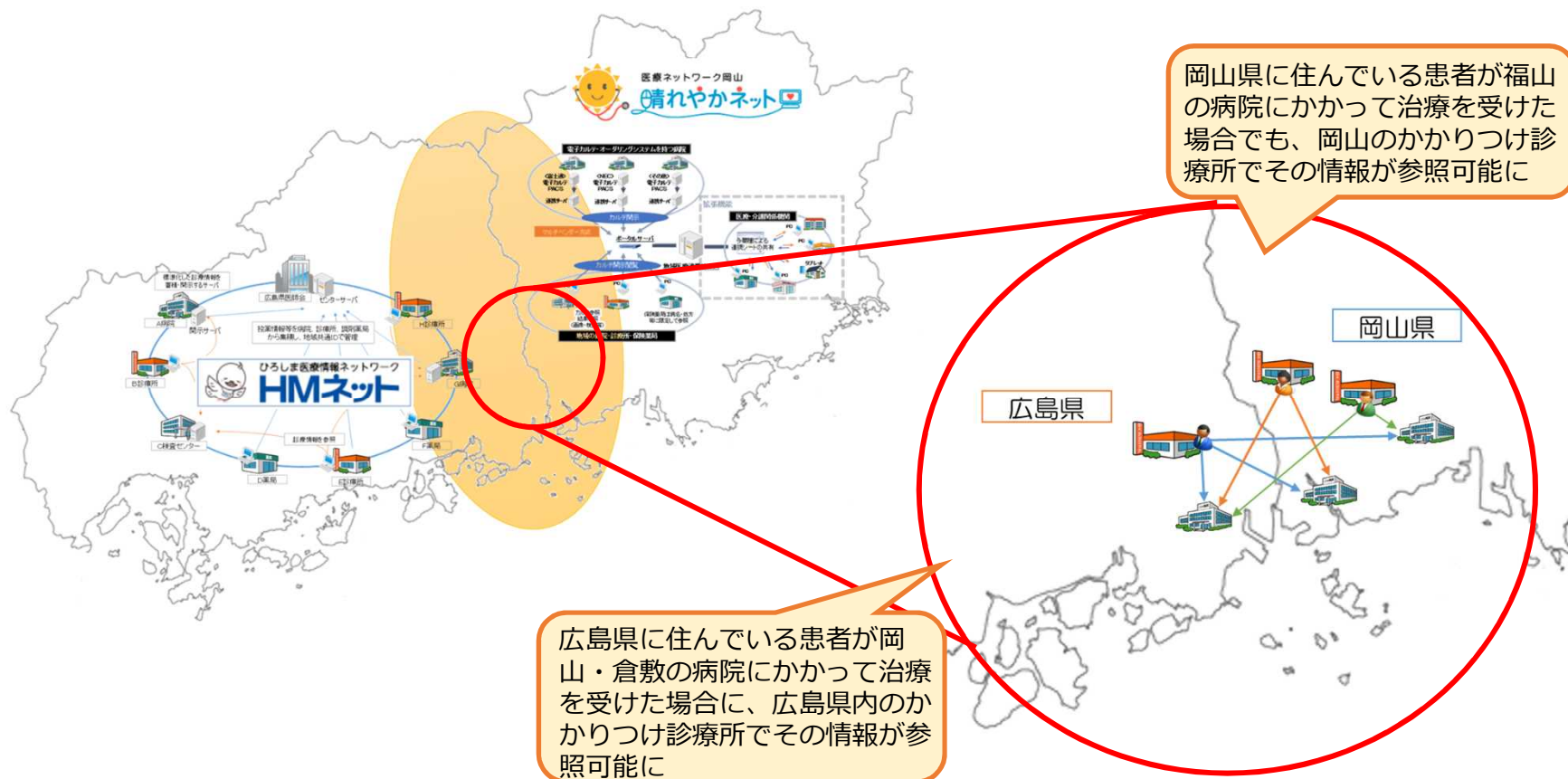
補助事業者名	一般社団法人 医療ネットワーク岡山協議会
実施地域	三次医療圏 (岡山県全域)
事業概要	<p>当協議会は、医療情報連携基盤として、診療情報連携システム(GWサーバ型)、診療情報連携システム(共同利用型)、医療介護連携システムの3つを運用している。本事業では、双方向連携基盤の充実、円滑な医療介護連携の支援、介護業務支援システムの運用性向上等を目的に、クラウド技術を活用して以下の機能強化を実施した。</p> <p>①診療情報連携システム(共同利用型)に電子カルテや画像情報の共有機能を付加 ②診療情報連携システム(共同利用型)に医療・介護情報を一元的に可視化する連携機能を付加 ③医療介護連携システムと介護業務支援システムとの情報連携機能を構築</p>



① 診療情報連携	<p>課題</p> <p>基幹病院からの診療情報開示でスタート後、レセコン情報を活用した双方向化を進めたが、連携に必要な情報が不十分などの課題があった。</p>	<p>取組</p> <p>中小病院や診療所の電子カルテ情報やPACS、モニターの画像情報の連携機能を付加</p>	<p>医療情報の質向上を実現</p> <p>レセコン、電子カルテ、外注検査データ、画像情報など地域が持つ医療情報を適切に活用して、双方向に必要な情報を共有することにより、質の高い医療サービスの提供を可能とする。</p>
② 医療介護連携	<p>課題</p> <p>医療連携と医療介護連携は、これまで別システムとして稼働しており、シームレスな情報共有ができていない課題があった。</p>	<p>取組</p> <p>診療情報連携システム(共同利用型)から医療介護連携システムを構築できるようなアーキテクチャへ変更</p>	<p>医療介護連携の強化</p> <p>医療と介護の情報を一元的に可視化することにより、常に患者の状況等を正確かつ継続的に把握した上で、適切な効果的な医療・介護を可能とする。</p>
③ 介護業務支援	<p>課題</p> <p>介護業務支援システムに入力された情報は、晴れやかネットの医療介護連携システムに直接反映できず、類似情報を二重入力しなければならぬ課題があった。</p>	<p>取組</p> <p>介護業務支援システムと医療介護連携システム間の情報連携機能を新たに構築</p>	<p>介護情報の円滑な活用</p> <p>二重入力等の軽減により、業務負担軽減に介護連携型システムを活用でき、在宅や施設の利用者の情報を関係者間で適切に共有可能とする。</p>

■ 広域連携事業 ・・・ 連携概要

- 岡山県・晴れやかネットと広島・HMネットの相互接続を平成28年4月に開始しました。
- このことにより、県境をまたがる患者の紹介・逆紹介に際し、今まで以上に質の高いサービスが切れ目なく提供できるようになり、地域医療の充実に大きな役割を果たすことが期待されています。

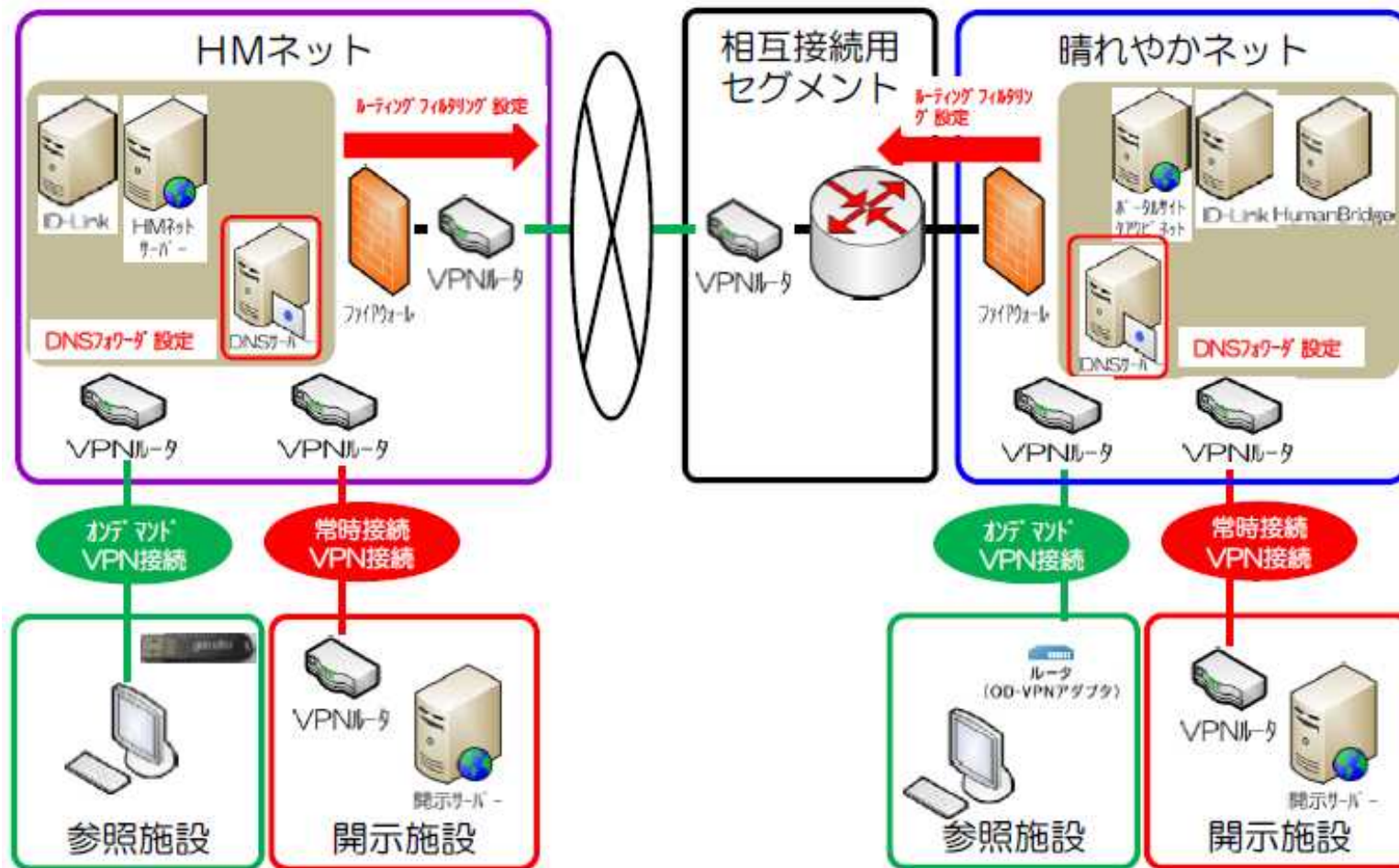


圏域を越えてのネットワーク同士の相互接続を実現

■ 広域連携事業

・・・システム概要

- HMネットと晴れやかネット間は、相互接続用セグメントを設置し、シームレスな連携を行います。



■ 広域連携事業

・・・運用方法について

岡山県 **広島県** **広域の医療情報連携を行っています**

HMネット **晴れやかネット**

医療情報連携ネットワークとは？
 患者さんを地域全体で支える医療ネットワークです。
 「医療情報連携ネットワーク」は、医療機関が個々に持っている医療情報を連携の医療機関で共有できる仕組みです。実状が実体化し、大きな病院から地域の診療所へ戻って診療を続けるときなどでも、今までが経過をふまえた診療を受けることができます。

Case 1 当院からかかりつけ医へ戻るとき
 大きな病院で詳しく検査してもらったとき、患者さんからかかりつけ医へきちんと転送するのが難しい、少し不安ですよね。そんな時は、医療情報連携ネットワークを使ってかかりつけ医に検査結果を見てもらいましょう。先生も的確にアドバイスしてくれます。

Case 2 地域の医療機関へ転院するとき
 転院先でも迎れ目なく患者さんを診ていくためには、前の医療機関での診療記録をしっかりと把握しておく必要があります。転院先の主治医は、以前の入院中の経過も詳しく確認できて、安心して一緒にリハビリを続けていただけます。

Case 3 受診歴のない医療機関に緊急搬送されたとき
 受診したことがない医療機関だと、何も情報がない状態から患者さんを診察してはいただけません。医療情報連携ネットワークを使えば、当院の医師がスピーディにかかりつけの医療機関の情報を確認することができます。

個人情報は **固く守られています**
 「医療情報連携ネットワーク」では、患者さんの診療情報を安全に管理するために、厳格なセキュリティ対策を実施しています。患者さんの診療に直関する部門限定で、「医療情報連携ネットワーク」を閲覧する患者さんからの許可を得た上で開示します。
 ※「医療情報連携ネットワーク」は、連携の範囲を拡大したことで、情報の漏れを防ぐために各医療機関からの不正な漏入を防いでいます。

広域連携リーフレット

お互いのシステム内においては、それぞれの運用ルールに従って運用

HMネットの場合は、同意書が開示施設ごとに異なります。
 晴れやかネットホームページ内の広域連携のWebページに施設ごとに定めた同意書を掲載しています

ダウンロード

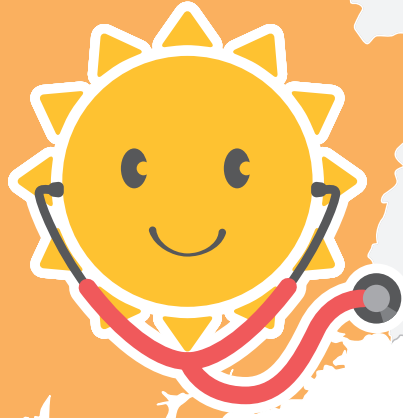
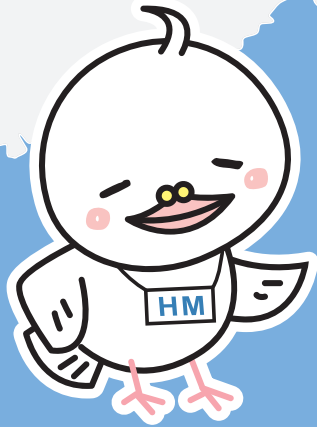
- 申請書類
 - 他県連携参加申請書
 - ひろしま医療情報ネットワーク広域連携参加申請書 (記入例)
- 同意書類
 - 晴れやかネット同意書
 - HMネット
 - 中国中央病院同意書
 - 日本製薬岡山病院同意書
 - 大田記念病院同意書
 - 徳山市長病院同意書
 - 沼津病院同意書
 - 香取記念病院同意書
 - 府中市長病院同意書
- 運用規定・規約
 - 広域連携における運用規定

HMネットのページの一
 番下に施設ごとに定めた同意書があります

岡山県

広島県

広域の医療情報連携を 行っています



ひろしま医療情報ネットワーク

HMネット

医療ネットワーク岡山

晴れやかネット

医療 情報連携 ネットワーク とは？

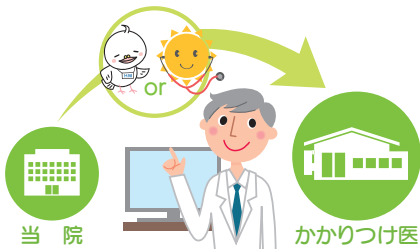
患者さんを地域全体で支える医療ネットワークです。

「医療情報連携ネットワーク」は、医療機関が個々に持っている診療情報を複数の医療機関で共有できる仕組みです。病状が変化し、大きな病院から地域の診療所へ戻って療養を続けるときなどでも、今までの経過をふまえた診療を受けることができます。



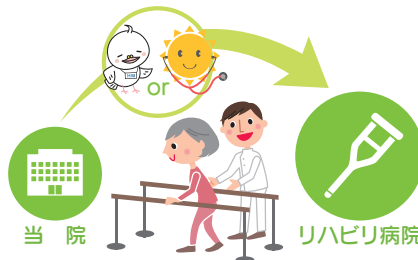
Case 1 当院から かかりつけ医へ 戻るとき

大きな病院で詳しく検査してもらったとき、患者さんからかかりつけ医へきちんと説明するのが難しい、少し不安ですね。そんな時は、医療情報連携ネットワークを使ってかかりつけ医に検査結果を見てもらいましょう。先生も的確にアドバイスしてくれます。



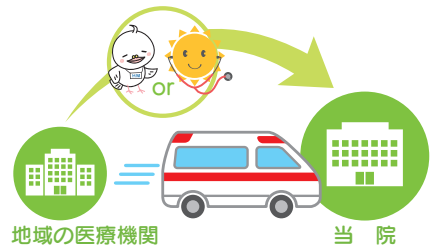
Case 2 地域の医療機関へ 転院するとき

転院先でも切れ目なく患者さんを診ていくためには、前の医療機関での診療記録をしっかり把握しておかなければいけません。転院先の主治医は、以前の入院中の経過も詳しく確認できて、安心して一緒にリハビリを続けていけますね。



Case 3 受診歴のない 医療機関に 救急搬送されたとき

受診したことがない医療機関だと、何も情報がない状態から患者さんを診察しなくてはなりません。医療情報連携ネットワークを使えば、当院の医師がスピーディにかかりつけの医療機関の情報を見ることができ、診療に役立てることができます。



個人情報
は固く守ら
れています

「医療情報連携ネットワーク」では、患者さんの医療情報を守るための対策を講じています。

- ①医療情報を閲覧できるのは、患者さんが同意した施設に所属し、患者さんの診療に関わる専門職員で、「医療情報連携ネットワーク」を運営する運営主体から許可されたものに限りです。
- ②「医療情報連携ネットワーク」は、通信の内容を暗号化した上で、専用の回線を用いて外部からの不正な侵入を防いでいます。



ひろしま医療情報ネットワーク

HMネット



医療ネットワーク岡山

晴れやかネット



—— 診療情報が連携されるまでの流れ ——

広島

の病院の治療内容を かかりつけ医で確認する場合

情報開示施設から説明



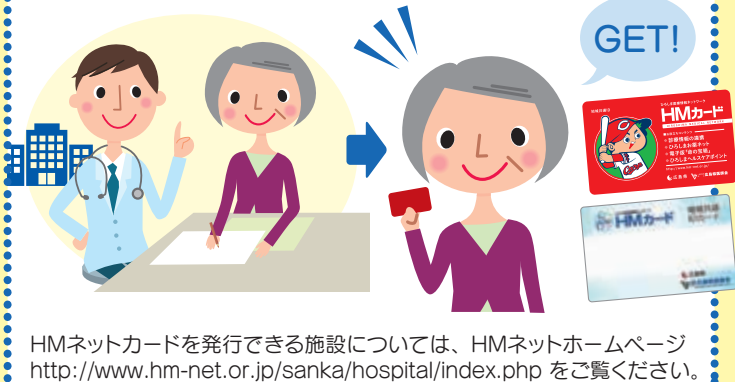
岡山

の病院の治療内容を かかりつけ医で確認する場合

担当医やスタッフから説明



情報開示病院でカードを作ってもらおう



同意書にサイン



情報の連携



ひろしま医療情報ネットワーク

HMネット

一般社団法人広島県医師会
 広島市東区二葉の里三丁目2番3号
 TEL : 082-568-1511 FAX : 082-568-2112
 URL : <http://www.hm-net.or.jp>

お問い合わせ



一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会
 岡山市北区駅元町19-2 岡山県医師会館5階
 TEL : 086-259-2077 FAX : 086-259-2088
 URL : <http://hareyakanet.jp>